



かたらして

アーチ通信 第11号

平成31年3月発行

「かたらして」は三島の方言で「なかまにいて」という意味です。



三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える“つながり”作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

★ 育成会の会員さんにきいてみました！ ★

～子どもが在籍した学校の感想 パート1～

《良かったこと・特別支援学級編》

☆入学時、数名が同じ学校の支援学級に入学することもあって、学校側で熱意のある先生を担当にしてくれたり、トイレの改修などの準備をしてくれていた。（小学校・他市町）

☆同じ先生（熱意のある）を5年間担任にしてくれた。（小学校・他市町）

☆『人とふれ合うのが一番！！』（子供の成長・地域の人たちの理解のために）

《良かったこと・特別支援学校編》

☆先生と1対1で対応してくれたので、手厚い支援が受けられた。

☆スクールバスに乗れたので、親の負担が減った。

☆先生が熱心に指導してくれた。

☆専門の先生が多く、障がいに対するある程度理解はあり、支援方法を考えてくださった。

☆高等部に進学した時、特別支援学校の生徒が入学してきて、交流することで刺激が増え、言葉が増えた。周りの子もしゃべれる子が増えた。

《困ったこと・特別支援学級編》

☆障がい理解がある先生が担任になるとは限らない。

☆先生に自閉症に対する知識や理解がなかった。

☆同じ学校の生徒によるいじめがあった。

《困ったこと・特別支援学校編》

☆学部が上になってくると、トイレに連れて行ってもらうことが減り、おむつ使用になってしまった。

☆特別支援学級から特別支援学校に転校したのち、まわりにしゃべる子がいなくなってしまうことで、出ている言葉が少なくなりました。

「子ども登山クラブ」の活動を紹介します！



小休憩時間も、動植物の発見や子どもたちの温かい関わりが生まれる楽しいひと時です。

日本の各地で、子ども達が自然体験を楽しむ「森のようちえん」が開催されていますが、三島では理事長の高橋さんを中心に4年前から活動しています。平成29年は、森のようちえんをさらにグレードアップし、子ども登山クラブを発足させました。30年からサバイバルキャンプも取り入れ、多くの子どもたちと登山のチャレンジを体験してきました。日頃の自然体験と異なるのは、目標があり、苦しみがあり、ゴールがあり、達成する喜びがあることです。子ども登山クラブでは、発達凸凹のある子もいない子も、大人も子どもも喜びを共に味わうことができています。



高橋理事長

登山がもたらす効果

- ・目標を持って取り組むやる気を育て積極性を向上させる。
 - ・危険を予測しながら注意深く行動することで集中力を向上させる。
 - ・美しい景色に感動し、感受性が豊かになる。
 - ・目標を達成することで得られる達成感自己肯定感を向上させる。
 - ・親から離れて大きな目標を達成する事で自立心を向上させる。
- これらは全て家庭内や学校の授業で習得することの出来ない学びです。



小さい子の手をひく子ども達



開催日 毎月第2日曜日（雨天の場合第3日曜日）
参加費 6000円（交通費・昼食・おやつ代・保険料込）
問い合わせ 090 3958 6599 担当高橋
森のようちえん・太陽と風のクラブ

三島市徳倉 F A X 055-987-1817

サポーター紹介！



法人：公益財団法人 復康会
事業所：サポートセンターなかせ三島分室
名前：大畑 志保（おおはた しほ）
職種：相談支援専門員
資格：精神保健福祉士、社会福祉士

ひとこと

昨年の10月に異動で三島分室に参りました。
すでに4か月が経過しましたが、まだまだ分からないことばかりで、日々勉強です。よろしくお願いします。

好きなもの：野球観戦・一人旅・甘いもの



鎌倉の茶房雲母の
巨大白玉あんみつ



国立新美術館の
草間彌生展に行きました

甲子園の
バックスクリーン
の横から



運営会議のほうこく！

日時：平成31年1月24日（木）15:00~17:00 場所：三島市役所西館2階会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

- ①相談&サビ管の連携プロジェクト
次回研修を開催するにあたり、これまでを振り返りました。
- ②人材育成プロジェクト
自由参加のプロジェクト会議見学会を企画し、新規メンバーを迎えられるよう取り組みます。
「TABUNリスト」を活用した研修会を12月に「えがお」で開催しました。
- ③三島再発見
「かたらしで」第10号を運営会議で確認後、配信します。

地域生活支援拠点事業

本事業の各機能の区分け、整理を進めることにしました。

協議会の運営体制等について

協議会の活動について、2年間の振り返りと共に、今後の方向性を模索する基礎資料として、運営委員からアンケートを取ることにになりました。
運営委員の選任や協議会の運営体制についても、資料をもとに改めて検討します。

田方駿東地区圏域自立支援協議会

行政担当者の打合せにおいて、三島市の協議会・基幹相談での整理事項他、緊急時の受入れ対応・体験の機会不足等の課題を報告します。
広域調整が必要となる案件については、他市町と足並みを揃えて検討していきたい意向も伝えます。

三島市手をつなぐ育成会

三島市手をつなぐ育成会が、今年4月から一般社団として法人化されます。





おしえて Q & A

市民後見ってなに？

これから期待される市民後見人



■市民後見人とは

高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の増加、また障がい者の地域生活への移行などを背景に、成年後見制度のニーズは高まっています。そうした中で、新たな担い手として、市民後見人が誕生しました。

市民後見人とは、社会貢献への意欲が高い一般市民の方で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見に関する一定の知識・態度を身に付けた方の中から、家庭裁判所により成年後見人等として選任された方のことです。



市民後見人の活動内容（親族や専門職が成年後見人等として行う後見活動と同じです）



ご本人の意思を尊重し、
心身の状態や生活状況に配慮しながら、福祉サービスを利用する際の契約や見守り、財産の管理などを行います。



ご本人と同じ地域で生活していることで、**ご本人の意思を丁寧に把握し、**地域に密着した活動を行います。



活動例

- ①ご本人に必要な生活費に関する出入金のため、金融機関へ行きます。
- ②ご本人の生活状況に変化がないか、定期的に入所施設に訪問します。
- ③ご本人の状況や介護サービス事業者との話し合いから、介護サービスの利用契約を変更します。
- ④家庭裁判所へ報告するため、財産目録や収支状況報告書を作成します。



問い合わせ先
三島市社会福祉協議会
☎055-972-3221

おしえてQ&A 今後の予定

第12号

★生活支援センターって
どんなところ？

第13号

★精神分野への疑問・
質問！

*予定は変更されること
もあります。ご承知願
います。

これからも、多くのプロジェク
トが構成され、メンバーとして
スタッフの派遣をご依頼させ
ていただきます。
ご協力いただけるよう、各事
業者の皆様にお願しま
す！！

*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。

三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園 相談支援事業所ふぁいん

055-976-8386

sole-fine@shirt.ocn.ne.jp